

平成29年3月期 中間期決算説明会

平成28年11月25日



イメージ情報開発株式会社

東証JASDAQ：証券コード 3803

I グループ概要

II 平成29年3月期 中間期決算概要

III 平成29年3月期 通期の見通し

IV 今後の中期戦略



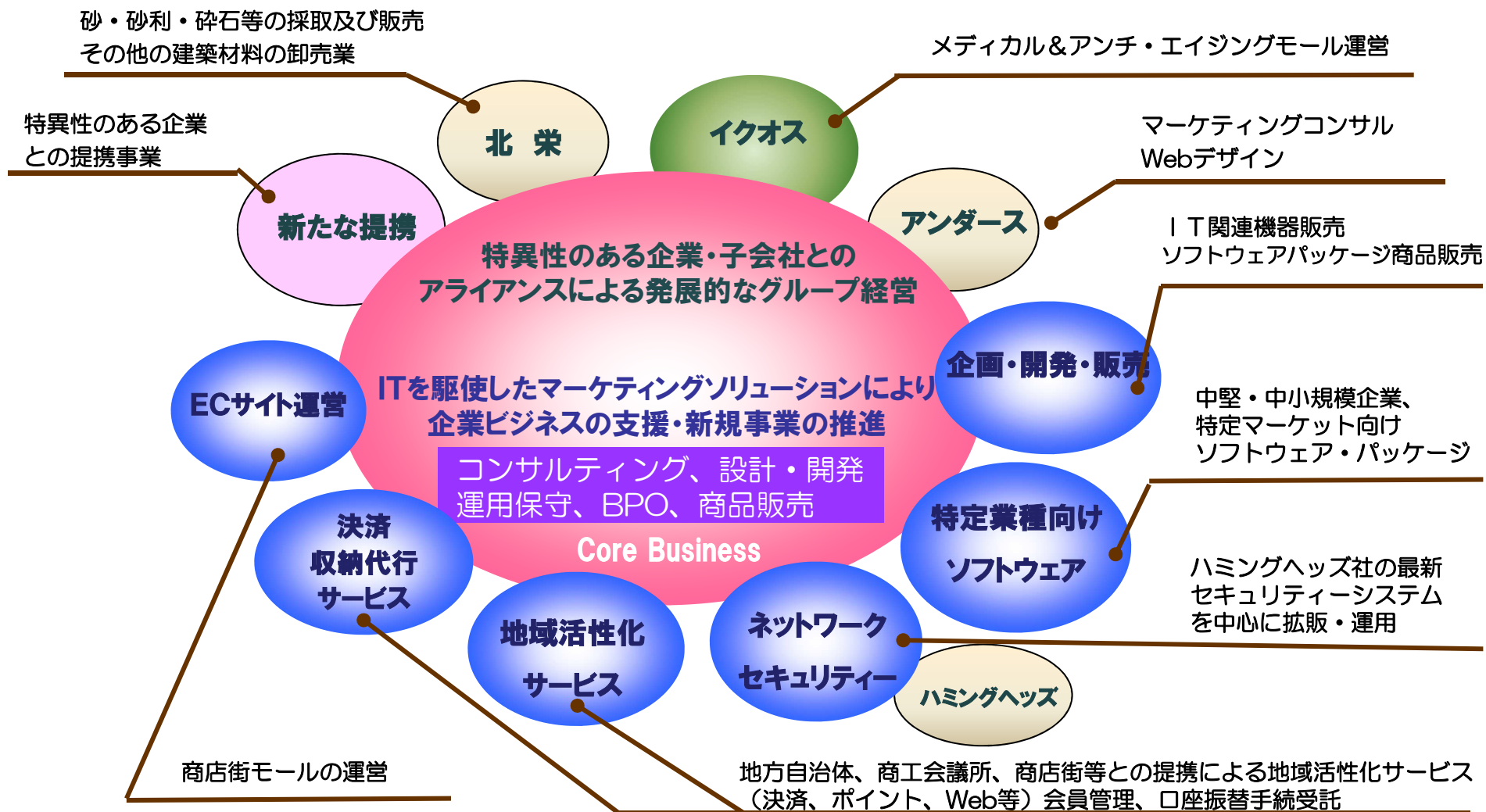
イメージ情報開発株式会社 会社概要

【設 立】	1975年（昭和50年）10月
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 衛
【資 本 金】	4億6,705万円
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都千代田区猿楽町 2-4-11 犬塚ビル
【子 会 社】	イクオス株式会社
【沿 革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年 4 月 JIコンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年 4 月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年 4 月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年 9 月 インターネットデータセンター開設 平成18年 4 月 大阪証券取引所(現東京証券取引所)JASDAQへ株式上場 平成19年 5 月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成21年12月 イクオス株式会社設立 平成23年 7 月 本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転 平成24年 9 月 株式会社インスパイア（現株式会社アンダース）を子会社化 平成25年 8 月 株式会社北栄を持分法適用関連会社化 平成25年10月 株式を200分割 平成27年 3 月 株式会社北栄を持分法適用関連会社化から除外 平成27年12月 株式会社アンダースを連結子会社から除外



イメージ情報開発グループについて

「システム設計・構築を基盤にマーケティング機能を付加した総合サービスによる企業ビジネスの支援」、
「自社製品の販売・サービス提供」、「特異性のある、子会社の育成、他企業とのシナジー」で構成します。



■ 株式会社北栄の現状

株式会社北栄は、海砂採取、販売を主要事業としています。沖縄では那覇空港第2滑走路増設埋立工事が4つの工区で順次行われますが、平成28年12月に2つの工区の入札が行われ、大量の海砂の納入が予定されています。船舶のフル稼働により、経営効率は大幅に改善されます。

那覇空港工事とは別に、次に控える大型埋立工事開始が来年早々に開始される予定です。

公的機関による船舶増設資金調達等の関係から、持分法適用関連会社から除外しましたが、さらなる関係強化を目的に「業務提携契約」を締結し、引き続きコンサルティング支援を継続しております。北栄社の今後の業績は大幅に拡大するため、当社の収益にも大きく貢献することと予測しています。

北栄社では、大型案件への供給能力を高めるため、船舶の増設を現在準備中であります。

- I グループ概要
- II 平成29年3月期 中間期決算概要
- III 平成29年3月期 通期の見通し
- IV 今後の中期戦略



バランスシート【連結】

【単位：百万円】

	平成28年3月期 年度末実績	平成29年3月期 中間期末実績	対前期末比	
			増減	増減率 (%)
資産合計	983	951	△31	△3.3
流動資産	395	448	52	13.3
固定資産	587	502	△84	△14.4
負債合計	341	334	△7	△2.1
流動負債	207	194	△12	△6.1
固定負債	134	140	5	4.2
純資産合計	641	616	△24	△3.9
負債純資産合計	983	951	△31	△3.3

- ✓ 流動資産：現預金 12百万円減、売掛金 43百万円増、短期貸付金 22百万円増
- ✓ 固定資産：長期貸付金 60百万円減
- ✓ 流動負債：買掛金 17百万円増、短期借入金 15百万円減、未払法人税等 11百万円減
- ✓ 固定負債：退職給付に係る負債 5百万円増
- ✓ 純資産：利益剰余金 24百万円減

中間期損益計算書【連結】



【単位：百万円】

	平成28年3月期 中間期実績	平成29年3月期 中間期実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	647	470	△177	△27.5
売上原価	509	417	△91	△18.0
売上総利益	138	52	△85	△62.1
販管費	111	74	△37	△33.3
営業利益	26	△22	△48	—
経常利益	24	△20	△45	—
中間純利益	15	△24	△39	—

株式会社アンダースを平成27年12月に連結除外としたことから、売上高、売上原価が大幅減

- ✓ 売上高：大手取引先での大規模サーバ入替業務は本年9月で完了、システム構築受注は15.4%の伸び
保守/運用並びにBPO/サービス分野はアンダース除外により減少
- ✓ 利益：営業利益、経常利益は当初見込通り、純利益はソフトウェア一括減損により3百万円減



業績ハイライト

■ セグメント別売上高

◎ 売上高 470百万円(前期:647百万円)

(単位: 百万円)

	コンサルティング /設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/ サービス	合計
平成27年3月期中間期	135	101	30	90	358
平成28年3月期中間期	260	91	207	87	647
平成29年3月期中間期	225	50	109	83	470
前年同期比	86.7%	55.1%	52.9%	95.3%	72.5%

◎コンサルティング/設計/構築

28年3月期は、受注案件拡大と一過性の案件受注で急伸

◎運用/保守

29年3月期は株式会社アンダース連結除外の影響で大幅縮小

◎商品販売

大型サーバ入替受注が27年4月開始、28年9月で完了

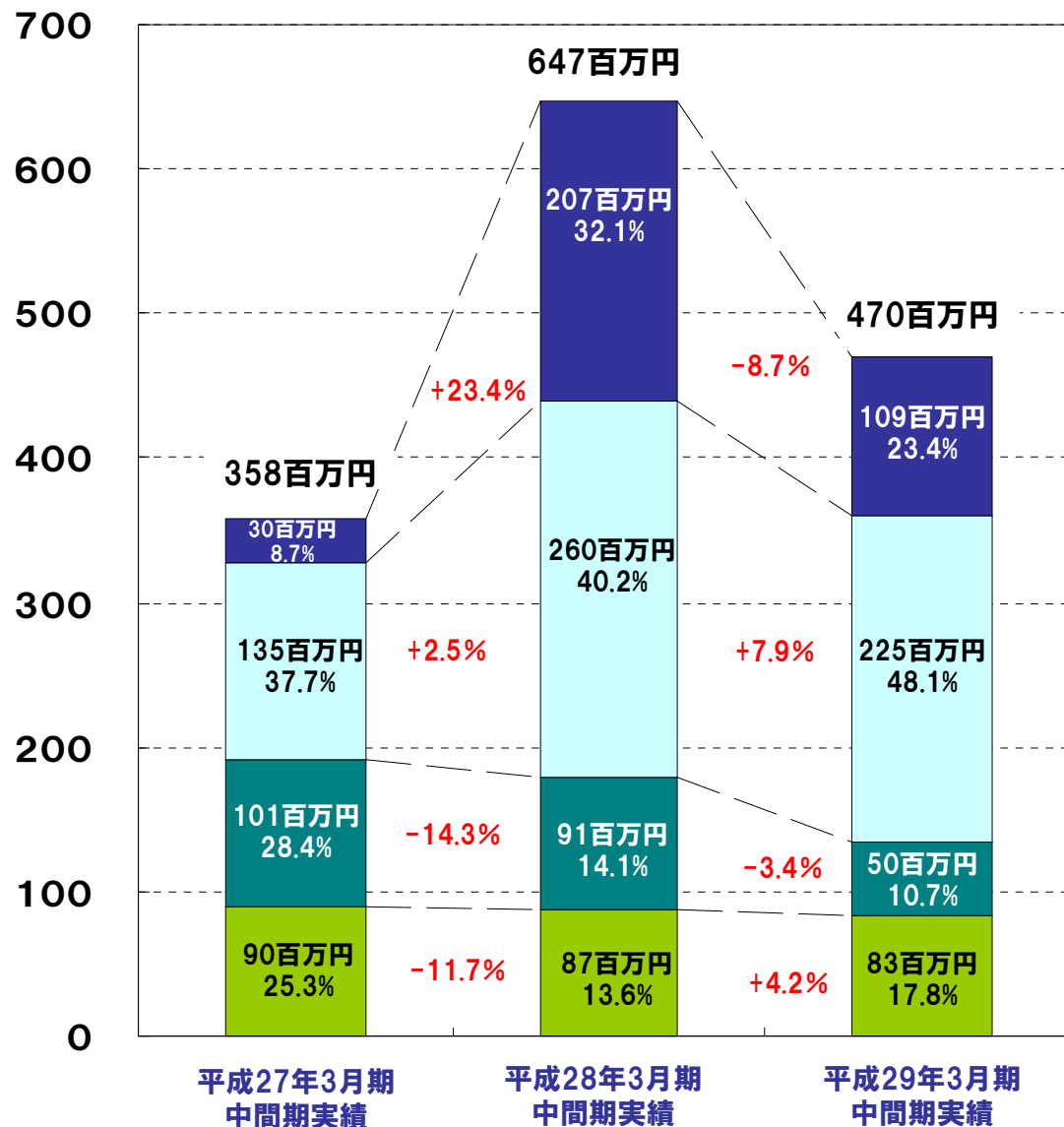
◎BPO/サービス

堅調に推移



売上構成【連結】

【単位:百万円】



商品販売

28年、29年度は大手取引先への大型サーバが大半を占める

コンサルティング/設計/構築

一過性受託を除くと、順調に拡大継続

運用/保守

大幅減は株式会社アンダース連結除外の影響だが、減少傾向にあり立て直しが必要

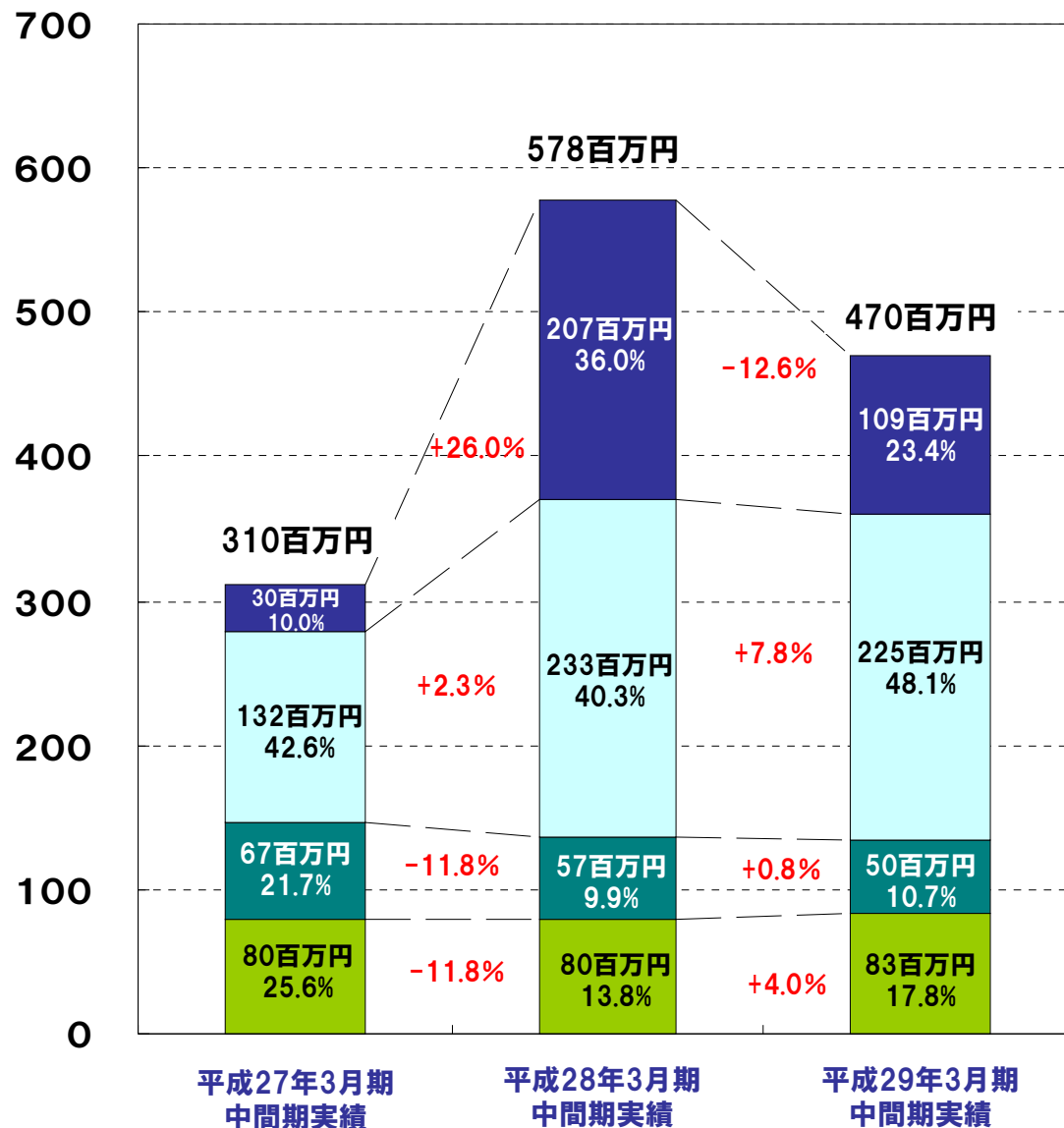
BPO/サービス

堅調に推移



株式会社アンダースを除いた売上構成【連結】

【単位:百万円】



商品販売

28年、29年度は大手取引先への大型サーバが大半を占める

コンサルティング/設計/構築

一過性受託を除くと、順調に継続して拡大

運用/保守

大幅減は株式会社アンダース連結除外の影響だが、減少傾向にあり立て直しが必要

BPO/サービス

堅調に推移



キャッシュフロー【連結】

【単位：百万円】

	平成28年3月期 中間期実績	平成29年3月期 中間期実績	対前期比 増減
営業活動によるキャッシュフロー	94	△29	△123
投資活動によるキャッシュフロー	2	31	28
財務活動によるキャッシュフロー	△43	△15	28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	53	△12	△65
現金及び現金同等物の中間期末残高	83	99	16

- ✓ 営業活動CF：税金等調整前中間純損失 24百万円
 売上債権の増加（CFは減少） 43百万円
- ✓ 投資活動CF：貸付金の回収による収入 37百万円
 ※貸付けによる支出と相殺しています
- ✓ 財務活動CF：借入金の返済による支出 15百万円

- I グループ概要
- II 平成29年3月期 中間期決算概要
- III 平成29年3月期 通期の見通し
- IV 今後の中期戦略



平成29年3月期の通期業績予想【連結】

(単位：百万円)

	平成28年3月期 (実績)	平成29年3月期 通期予想			
		上期 (実績)	下期	通期	増減率(%)
売上高	1,253	470	465	935	△25.4
営業利益	70	△22	58	36	△47.6
経常利益	62	△20	61	41	△33.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	37	△24	45	21	△41.3

通期に向けた課題と主な取り組み

- 外部人材リソースを活用したシステム設計/構築案件の受注増強
- セキュリティーライセンス販売の大型案件の獲得
- 北栄社的那覇空港第二滑走路増設埋立工事への参入による業績拡大に伴うコンサル売上高の確保
- 原価率抑制、販売管理費の一層の削減 等



平成29年3月期の計画(セグメント別状況)

コンサルティング/設計/構築

- 外部人材リソースを活用した受注案件拡大
- 北栄社の業績拡大に伴うコンサル売上
- パッケージ商品の受注拡大
- **i-case** : ダウンロード版で受注
- **Easy Navi** : ラインナップ化で推進
- 売上原価率上昇の歯止め

運用/保守

- システム構築後の保守業務受託
- クレジット包括代行業務の新規取扱団体の開拓
- **EC**サイトメンテナンス業務の維持、拡大
- 情報セキュリティ対応訓練メール運用の受注拡大

プラットフォームビジネス

- 新カードによる地域活性化プラットフォーム
- アンチエイジングプラットフォーム

商品販売

- 自治体向け情報セキュリティソフト販売の強化

BPO/サービス

- 商工会議所向け検定受付代行システムの新規取扱
会議所の開拓
- 決済サービスを活用した新たな受注先の開拓

企業活動の内容

プラットフォームビジネスの確立に向けて事業を推進

◎ IT支援サービスの推進

- ・高付加価値サービス提供に向けて特異性を有する企業とのアライアンス構築
- ・外部人材リソースを活用した開発案件獲得

◎ 株式会社北栄への新規事業等支援活動

- ・那覇空港第2滑走路増設埋立工事への海砂供給は本年5月から開始、船舶増設により飛躍的な業績向上が見込まれる
- ・その他大型工事受注に向けての体制整備

◎ サービス・BPOの拡大

- ・商工会議所が主催する各種検定試験の業務受託システムの再構築と拡販
- ・異業種企業とのアライアンスによる地域活性化施策の多様化促進

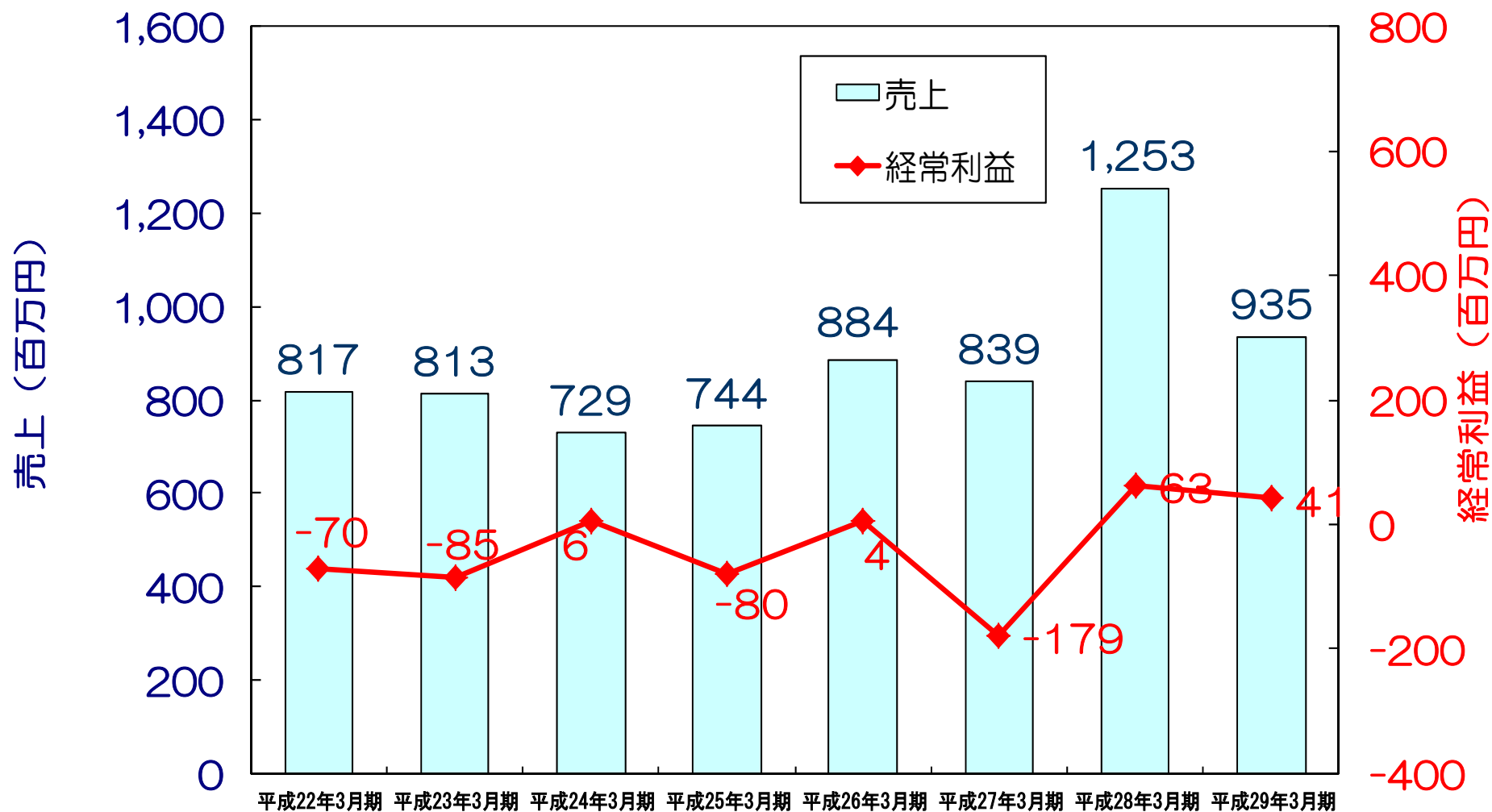
◎ ハミングヘッズ社との提携強化

- ・新開発されたコンピュータウィルス対策ソフトの拡販分野において両者の強みを活かした提携を強化
- ・当社営業ルートを活用したライセンス販売の強化

◎ グループ経営インフラの強化を目的とした組織の見直し

- ・売上原価の適正化、販売管理費の削減に向けて、組織の見直しを実施

業績推移



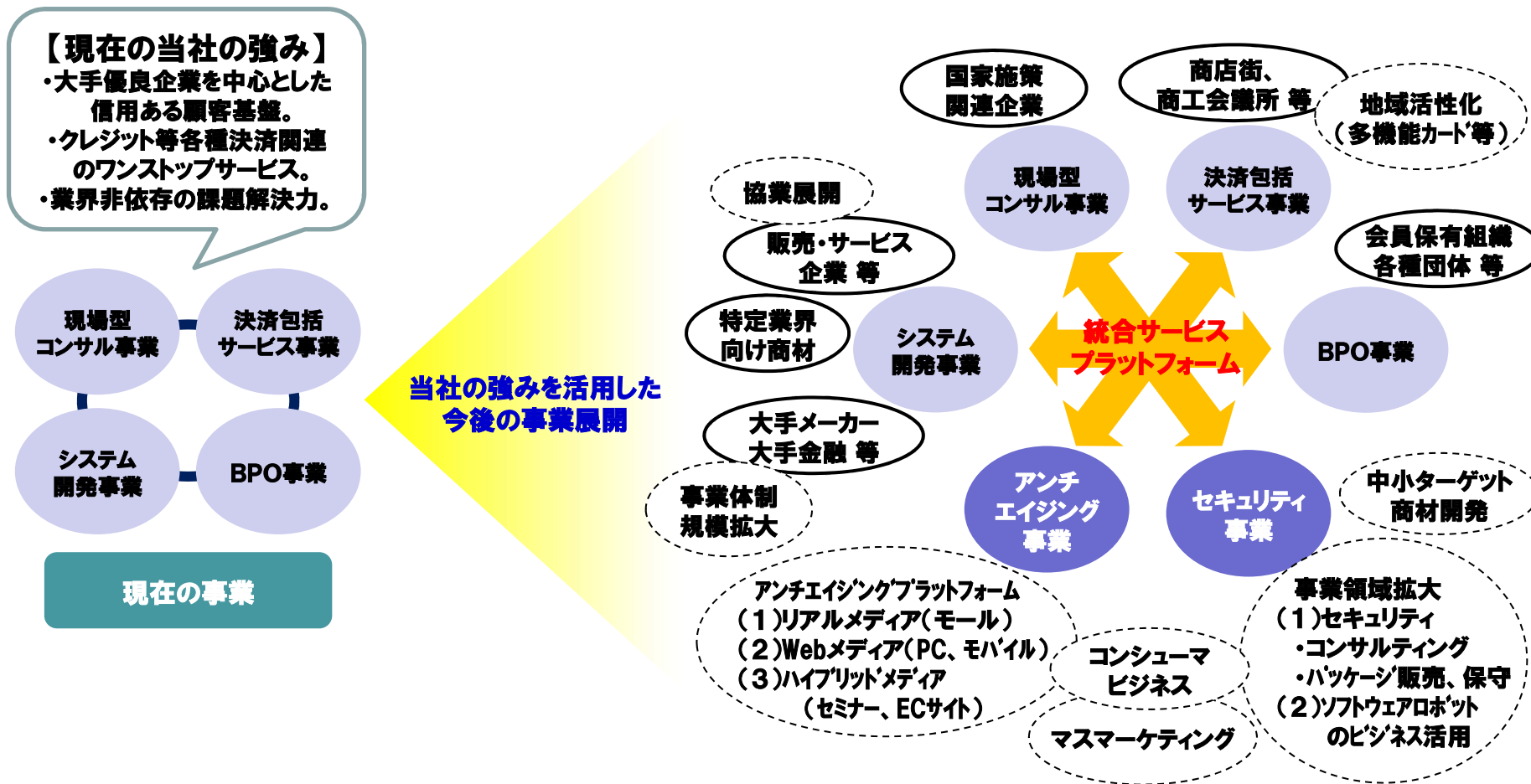
- I グループ概要
- II 平成29年3月期 中間期決算概要
- III 平成29年3月期 通期の見通し
- IV 今後の中期戦略



激動する経済社会の下、顧客企業に対する「先進的ビジネスモデルの提供」を目的に既存の中核技術をベースに他分野の知識や技術を組み合わせた多岐にわたるビジネスの「プラットフォーム」の構築に着手しました。
ヒト/モノ/カネ/情報をネットワーク化し、組織やサービスを束ね、顧客企業と共に永続的成長を目指した「プラットフォームビジネス」を経営テーマにして成長してまいります。

あらゆる分野の特異性を有する諸企業との提携や、さらに必要に応じてM&Aも実施し、中長期にわたる本格的成長を目指してまいります。

ビジネス構想



- ・既存、新規顧客間とそのエンドユーザをクロスマーケットする新市場の創造
- ・当社の強みをベースに特異性を有する企業とのアライアンスを活用した新価値(機能・サービス)の創造と提供
- ・先進的サービスプラットフォームによる絶対的存在としての地位獲得

**新市場創造と新価値提供
永続的収益構造の確立**

成長ビジネスへの積極転換

■ 北栄事業の拡張、
提携強化

■ M&Aによるコア事業
の強化

■ 新規事業
プラットフォーム
ビジネス



今期をボトムに來期より急成長へ

5年以内の東証2部上場を目指す

- 財務体質の速やかな改善
- ビジネス規模の大幅拡大
- 東証2部上場基準のクリア
 - ・ 時価総額の拡大
 - ・ 株主数、総株式数、浮動株式数の増大



本日は、ありがとうございました。

<お問い合わせ先>

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

常務取締役 経営管理室長 佐藤 将夫

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。